

すくすく たけのこキッズ 第1号



川崎こどもクリニック
〒597-0102 貝塚市木積656-7
電話：0724-21-2033
http://www.kawasaki-kc.jp

平成16年5月11日発行

開院にあたって

いよいよ母校の真ん前で開業の運びとなりました。小児科が専門ですので子供さんを中心に診療していくことになりませんが、その中で患者さんの動向やニーズを見ながら、さらにいろいろな設備を整えていきたいと考えているところです。なお今後、毎月このような院内報を発行して、いろいろな地域感染症情報や子育てに役立つ記事を取り上げて参ります。よろしくお付き合い下さい。



ワクチン接種を進めましょう

ちょうど学校から日本脳炎や二種混合（ジフテリア・破傷風）の予防接種問診票をもらって来る時期です。また、4月のポリオ集団接種から1ヶ月が経ち、三種混合や麻疹などの予防接種を予定されている子供さんもいるでしょう。このあたりで、一度母子手帳などをもとに、忘れていた予防接種がないか、既に接種の時期を迎えている予防接種がないかを確認して見て下さい。熱性けいれんで予防接種のスケジュールが乱れた場合、忘れていたワクチンがあつて公費負担の期限が過ぎている場合など、お困りの場合は小児科で御相談下さい。当院では、公費負担の期限をはずれたもの、水ぼうそうやおたふくかぜといった自費で接種するワクチンも含めて対応しています。

木島西幼稚園園医に委嘱

開業と同時に園医を委嘱されました。内科検診もこれからですし、なにしろ新米の園医ですが、小児科医として何か関わって付加できるものがあればと思っています。なお、裏面にもありますように園医以外にもいろいろ院外で活動しています。直接的、間接的にこの地域の医療水準が上がることを願っています。時々診療時間の変更や休診ということもあるとは思いますが、ご協力願います。



小児の肥満①-肥満の基準



肥満はそれだけでは病気とは言えません。合併症が出て来て初めて病気とする考えもあります。しかし、将来のことを考えるとそうも言われてはいられません。それは肥満の状態が続いたまま成人になれば糖尿病・高脂血症・高血圧から膝の痛みに至るまでの合併症が出て来ることは必至だからです。また、合併症とは言いにくいですが、肥満児に対してのいじめなどがありそれを契機に不登校になったりするケースもあります。しかし、未だに昔ながらの「ご飯をたくさん食べる子はいい子」という一種の迷信が残っていることも事実です。いろいろな病気の中で太っている方が少ないのは感染症くらいのもので、感染症が死因の大部分を占めていた時代であれば肥満児は健康の象徴だったかもしれませんが、今や成人の死因の上位を心疾患・脳血管障害などが占める状況となっているのですから考えを改めねばなりません。

成人では次のような式で計算される指数（BMI）で25以上を肥満として扱っています。

$$BMI = \frac{[体重(kg)]}{[身長(m)]^2}$$

一方、小児は特に学童期の体格の変化が大きく、単純にこのような計算では評価するのが困難なため、身長に応じた標準体重に対して何%体重が多いかを肥満度としており、これが20%以上のものを肥満と考えています。本来は年齢を加味する必要がありますが、ここではだいたいの目安を性別・身長別にまとめてみました。



男子	体重(kg)	身長(cm)	女子	体重(kg)
標準	+20%		標準	+20%
23	28	120	23	27
26	31	125	25	31
28	34	130	28	34
32	38	135	31	37
35	42	140	34	41
39	46	145	38	46
42	51	150	42	51
46	55	155	48	58
50	60	160	55	66
55	66	165		
61	74	170		

この表で+20%を越えているようならば、一度医療機関で御相談下さい。